

“私” から “公” へ

永田 円了

NEET の事例：働かない若者、52 万人 (Not in Education, Employment or Training)

NEET、隆の理屈：やりたいことはやりたい、でもまだ見つかっていない
子供のころから、親に怒られたことがなかった

NEET、文の理屈：うち両親二人とも、世間の目をあまり気にしていない
世間の目というより、“私”が幸せになってくれればいいと思っている

NEET、隆と文に共通すること → 父親が不在であること

サル社会の事例：サル社会には父親は存在しない、何故か

サル社会には、“公”の領域は存在しないから

“公”の領域とは：公共性を重んじる社会

公共性とは、社会的交換を成立させる条件

社会的交換とは、等価な交換、信頼関係

信頼関係とは、「私はあなたのことを信頼する、その代わりに、私はあなたの信頼に報いることをします」という、対等な関係



では、何故人間は父親を必要としたのか → 人間社会は二重構造をもっているから

“私”的領域 & “公”的領域

“公”の領域に子供たちを導く役割を誰が果たす？ → 父親である



事例：響き合う父と子 —— 大江健三郎と息子、光の 30 年

父、健三郎が光ちゃんに教えたかったこと

“死”をおそれるな / “死”とは、現実の世界である (= “公”の世界)

親はいつか死ぬ / おまえは、自立して生きていかねばならぬ

今、父性と母性のバランスは崩れている

母性とは、“私”の領域で情緒的安定を得る力を供給するもの / 父性とは、“公”の世界へ出る力を供給するもの

正高信男、語る：人間は子供をもったからといって、自動的に親になるわけではない

何故最近キレる子供たちが多いのか → コトバを使わないから → 思考が停止している

思考が停止しているとは / 例：犬が人を噛む → 痛い、怖い

思考するとは / 例：犬が人を噛んだ → 私が骨をとったので、犬が私を噛んだ / 因果関係を明確にする



大江健三郎さんからのメッセージ

学校へ行く意味とは / ある時間待ってみてください / 今を大事に、未来を考える

子供の成長を妨害することは、最大の犯罪 / 真っ直ぐに立って、横に繋がる

永田 円了のホームページ：www.enryo.jp